令和8年度 おだわらゼロアンバサダー事業

みんなでおだゼロ発信コンテスト

企画提案書

企画背景・目的

【背景】

おだゼロ会議ではこれまで、毎年数名のゼロカーボンアンバサダーを通じて、市民への情報発信を行ってきました。

私自身、昨年度アンバサダーとして発信する中で、調べ、考え、実践することで、環境問題をより自分事として捉え、行動変容にもつながりました。この経験から、「発信すること」自体に意識や行動を変える力があると感じています。一方、少数の発信者から多くの市民へ情報を届けるだけでは、その効果の広がりには限界があります。そこで今年度は、市民や企業自身が発信者となり、ゼロカーボン行動を共有する仕組みをつくりたいと考えました。発信と相互の学びを通じて、自分事化と新たな行動が広がる参加型の普及啓発を目指します。

【目的】

- 小田原市内の脱炭素アクションを促進し、地域脱炭素目標の達成に貢献すること。
- 情報を受け取る側から発信する側へ転換させることを通して、市民の脱炭素に対する意識行動変容を促進すること。
- 市民同士の取り組みの共有を通じて、地域全体のゼロカーボンに関する知識やリテラシーを向上させること。

コンセプト

「みんなでおだゼロ発信コンテスト」

一部の専門家や意識の高い人だけでなく、誰もが気軽に参加できるキャンペーンを目指します。
「発信すること」自体を最初のアクションと位置づけ、多くの市民で作る小田原の新しい環境ムーブメントを創出します。

ターゲット

【メインターゲット】

環境問題は知っているが、考える機会が少ない市民

環境問題に関心はあるが「何から始めていいかわからない」

「ハードルが高い」と感じて具体的なアクションを起こせていない市民

【サブターゲット】

既にエコな取り組みを実践しており、

その取り組みやノウハウを地域に共有したい市民

開催概要

【企画名】みんなでおだゼロ発信コンテスト

【募集期間】2026年10月1日～11月30日

【参加対象】応募時点で小田原市内在住・在勤・在学の方、小田原市内に事業所を有する企業

※参加対象に該当しない場合は受賞を取り消すことがあります。

【プラットフォーム】Instagram

【賞品総額】Amazonギフトカード60,000円分／最大33名

・グランプリ　1名：10,000円分

・準グランプリ　2名：各5,000円分

・部門賞　5名：各3,000円分

・投稿ありがとう賞　25名：各1,000円分　※投稿ありがとう賞は抽選で決定

【部門賞】脱炭素アクション賞／みんなでできる賞／おだわらアイデア賞／

はじめの一歩賞／伝わる・ひろがる賞

プログラム詳細/応募方法①

【投稿の最低条件】

写真、動画またはキャプションから、実施中またはこれから実施したい具体的な
脱炭素アクションが分かること。投稿は2027年2月28日まで公開状態を維持。

【応募方法①　個人アカウントからの応募】

・おだゼロ発信コンテスト運営アカウント（@odazero_cts2026）をフォロー
・フィードまたはリールを投稿　※ストーリーズは不可、アカウントを公開設定
・キャプションに「#おだゼロ発信2026」を付け、運営アカウント（@odazero_cts2026）
　をメンション。その他の内容、文字数は自由
・複数写真投稿も可。1投稿を1作品としてカウントする

プログラム詳細/応募方法②

【応募方法②　ゼロカーボンフェアからの応募】

・11月1日にダイナシティで開催されるおだわらゼロカーボンフェアの特設ブースにて応募
・おだゼロ発信コンテスト運営アカウント（@odazero_cts2026）から投稿
・内容は参加者本人が考え、会場スタッフが撮影や投稿形式を支援
・応募用紙にて参加者・作品番号、市内在住・在勤・在学の別、
　メールアドレスまたはSNSアカウントを取得し、作品と通し番号で管理する。

プログラム詳細/受付

【応募確認】

・メンション通知と指定ハッシュタグを照合
・有効な投稿には、投稿後5日以内に運営アカウントから受付完了コメント
・5日を過ぎてもコメントがない場合は、応募者からDMで連絡

【複数応募】

・投稿数の上限なし。すべての有効投稿を審査
・抽選は有効投稿1件につき1口、1人最大3口
・審査と抽選を合わせ、受賞は1人1点まで
・審査受賞者は「投稿ありがとう賞」の抽選対象外
・応募者ごとの有効投稿数と抽選口数は、事務局管理表で管理します。

プログラム詳細/結果発表・受賞連絡

【審査・結果発表】
・募集終了後、審査委員5名（主催者1名、外部委員4名）がグランプリ、準グランプリ、部門賞を選考、「投稿ありがとう賞」を抽選
・結果は運営アカウント、おだゼロアカウント等で発表

【受賞連絡・賞品送付】
・受賞候補者に、インスタグラムのDMまたはフェアで登録された連絡先へ仮受賞通知を送付
・通知日の7日以内に、氏名、応募資格確認、Amazonギフトカード送付用メールアドレスを返信
・資格確認後にAmazonギフトカードをメールで送付
・7日以内に返信がない場合、資格を確認できない場合、投稿が削除・非公開となっている場合は受賞資格を失う

ポイント・こだわり・意義

【「発信」を通じた自分事化】

自分の行動を写真や動画で発信することで、脱炭素を自分の生活に関係する課題として捉えるきっかけをつくります。

【多様な参加の動機付け】

総合評価による賞、特徴を評価する5つの部門賞、抽選による参加賞を設け、完成度だけでなく、身近な工夫や最初の一歩も評価します。

【環境リテラシーの底上げ】

他の参加者の投稿から新しい行動を学び、市民同士が身近な脱炭素アクションを真似し、広げていく好循環を生み出します。

評価・審査基準

以下の5項目を100点満点で総合評価し、総合点でグランプリ、準グランプリ、各項目で特に優れた作品を部門賞として選考します。フォロワー数やSNS上の反響は総合点に直接加算しません。ただし「伝わる・ひろがる賞」では、いいね、コメント、再生回数等を参考にします。

【脱炭素へのつながり　25点】
省エネ、ごみ削減、移動、地産地消など、脱炭素やCO2削減につながるか。
【取り組みやすさ・続けやすさ　25点】
他の市民も日常生活で取り入れやすく、継続しやすいか。
【工夫・アイデア・小田原らしさ　20点】
独自の工夫や、小田原の自然・地域資源を生かした視点があるか。
【アクションの具体性　15点】
写真、動画またはキャプションから、行動の内容が具体的に分かるか。
【伝わりやすさ・共感性　15点】
内容が分かりやすく、見た人が「自分もやってみたい」と感じられるか。

参加・情報波及の効果測定

【1. 参加・発信量】
有効投稿数、参加者数、1人あたりの投稿数、個人投稿とフェア経由の応募数を集計します。
個人投稿は公開されているいいね、コメント、再生回数等を確認します。公式・事業専用アカウントはInstagramインサイトでリーチ、保存、シェア等を確認します。

【2. アクション内容】
投稿を省エネ、ごみ削減、食、移動、買い物、自然、地域活動等に分類し、市民の関心分野や取り組みやすい行動を分析します。結果は、翌年度以降の重点施策、情報発信、講座・イベント等に活用できます。

【3. 今後の協力者】
継続的な発信、独自性の高い活動、交流や情報の広がりを生んだ参加者を把握し、次年度以降の協力者・アンバサダー候補につなげます。

スケジュール（実施計画）

9月：協賛企業への打診、初期発信者への事前依頼、ポスター・チラシ作成

9月～10月：市広報紙、公式SNS、地元メディアを通じた事前告知開始

10月～11月頃：コンテスト開催（応募受付・SNS運用・ゼロカーボンフェアでの盛り上げ）

12月：応募締め切り、審査委員会による選考

1月：結果発表、表彰式（またはオンライン発表）、賞品発送、効果検証レポート作成

2月：事業実績報告会、投稿公開維持期限

実施体制

主催：　高島あずさ（みちしるべラボ）

審査協力：　4名調整中

補助・協力：　おだわらゼロカーボン推進会議事務局

問い合わせ先：　コンテスト運営アカウント（@odazero_cts2026）